

香春町役場/中津原集学校
村上 有希氏
青山 麻菜美氏
山本 晃久氏
INTERVIEW


廃校を「地域のつながり拠点」に再生—— 香春町 × リングロー「おかえり集学校プロジェクト」と NETGEARが目指す地域コミュニティの未来

取材・文：ネットギアジャパン

廃校を地域の財産に——

香春町が挑む「人が集まる場所づくり」

福岡県田川郡香春町（かわらまち）。かつて炭鉱の町として栄えた香春町は、現在「地域のつながり再生」に力を入れています。人口減少や少子高齢化が進む中で、廃校を単なる「使われなくなった施設」として放置するのではなく、「新しい地域コミュニティの拠点」として再生するプロジェクトが進行中です。その取り組みの一つが、「おかえり集学校プロジェクト」。香春町内の廃校となった小学校・中学校を活用し、地域の方や民間企業と連携して、町全体で「楽しく集える場所」を作り上げています。

今回、香春町 まちづくり課の村上有希氏、勾金地域コミュニティ協議会の青山麻菜美氏、一般社団法人おかえり集学校 福岡支店 中津原集学校 校長の山本晃久氏に、NETGEAR製品導入の背景と、その効果についてお話を伺いました。



中津原集学校と勾金保育所——

「地域の集い場」として再生

—— 現在の取り組みについて教えてください。

村上有希氏（香春町 まちづくり課 地域つながり係）：香春町は、廃校活用事業を進めている中で、地域の方や民間企業と一緒に「楽しい町づくり」を進めています。

令和3年には、町の新たな教育施設「香春思永館」が開校しましたが、その影響で小学校4校と中学校2校が廃校になりました。この中で、中津原地区の廃校跡地には「おかえり集学校プロジェクト」のリングローさんに運営をお願いしています。

中津原集学校は、地域の方や子どもたちが自由に集まれる場所として、楽しく活用しています。

—— 今後、さらに広げていきたい展望はありますか？

村上氏：香春町は、小学校区単位で地域コミュニティの推進を目指しています。その一環で、中津原集学校をはじめ、地域コミュニティの活性化を進めています。

現在は、隣の勾金（まがりかね）地



村上有希氏

区でも同様の取り組みを始めています。勾金地区の学校は残念ながら取り壊しになってしまったのですが、隣接する「勾金保育所」を来年度からコミュニティセンターとして活用する予定です。地域の皆さんが誰でも集まれる場所になればと考えています。

WiFi環境を整備し、地域の「デジタル交流拠点」に

——勾金保育所でもネットワーク環境の整備が課題だったと伺いました。

青山麻菜美氏（香春町 まちづくり課 集落支援員／勾金地域コミュニティ協議会 事務局長）：はい。現在、勾金保育所の方でも地域コミュニティ拠点として動いているのですが、引越し後の環境整備はまだ途上です。WiFi環境が整っていないため、NETGEARさんの製品を使って、お子さんからお年寄りまで誰でも使える「楽しく集えるデジタル空間」にしたいと考えています。



青山麻菜美氏

廃校のネットワーク環境は「ゼロからのスタート」



山本晃久氏

——中津原集学校でもネットワーク構築には課題がありましたか？

山本晃久氏（一般社団法人おかえり集学校 福岡支店 中津原集学校 校長）：LANのポートは残っていたのですが、WiFi機器はそもそも設置されないまま廃校になっていたんです。

個別にアクセスポイントを準備する必要がありました。特に「職員室」の場所は事務所としても使うので、安定したネットワーク環境が必要でした。

セキュリティと管理面でNETGEAR製品を選定

——ネットワーク機器の選定では、どんな点を重視しましたか？

山本氏：コスト重視で安価な製品を選ぶと、どうしてもセキュリティ面が心配になります。特に中国製ルーターなどは、セキュリティリスクを懸念していました。そのため、安全性が確保されているNETGEAR製品を選んだのが大きな決め手です。

また、管理面も大きなポイントでした。入居企業が変わるたびにWiFiの設定を個別対応するのは負担が大きかったのですが、NETGEAR製品ならクラウド管理でSSIDやパスワードも一元管理できます。

業者さんの出入りが多い施設だからこそ、管理の簡略化は大きなメリットです。

導入後の効果——オンライン会議もスムーズに

——実際に導入してみて、現場からの反応はいかがでしたか？

山本氏：まずオンライン会議がスムーズになりました。今はWiFi 7対応のデバイスも増えていますので、最新規格にも対応していることで、「途切れない会議」ができるとスタッフからも好評です。

また、これまで事業者ごとに個別にWiFiを用意していたのが、NETGEARさんのクラウド管理機能のおかげで一元管理できるようになりました。SSIDやパスワードの切り替えも楽になり、管理負担がかなり軽減されています。



ProAV対応 M4350シリーズ
(GSM4328-100AJS)



Insightアプリ&クラウド対応
WiFi 7 アクセスポイント
(WBE710-100APS)

今後の展開——「屋外でもWiFi」を目指して

——これからの展開について教えてください。

山本氏：屋外イベントや体育館でもWiFiが使える環境を整えたいと考えています。今はまだ体育館にはWiFiが通っていないので、地域の方がどこでも快適にネット環境を使えるようにしていきたいですね。

今後の展開——「屋外でもWiFi」を目指して

——今後、ネットワークインフラについて期待することがあれば教えてください。

高田氏：当社グループは、今後もさらなる事業拡大を予定しています。拠点数も増えていきますので、ネットワーク管理の負荷は今後さらに増えるでしょう。理想を言えば、メーカーを超えて統合管理できるようになるのがベストですが、まずはNETGEARさんから、そういった対応製品をさらに増やしていただくと助かります。

私たちIT部門としても、運用負荷がどんどん軽減されることを期待しています。

まとめ

香春町が進める「おかえり集学校プロジェクト」は、単なる廃校再利用ではなく、「地域コミュニティの再生」と「デジタル化」の両立を目指した取り組みです。NETGEARのネットワーク機器は、その基盤を支える重要な役割を担っています。

「人が集まる場所」を作り、「人と人がつながる場所」にしていく——そのためのデジタルインフラ整備は、今後も重要なテーマとなるでしょう。

製品

ProAV対応 M4350シリーズ
GSM4328

Insightアプリ&クラウド対応
WiFi 7 アクセスポイント
WBE710

